



写真1 弁慶橋の風景

近隣散策

弁慶橋

弁慶橋は、千代田区紀尾井町から港区元赤坂一丁目にある弁慶堀の上に架かる橋です。弁慶堀とともに、「江戸城外堀跡」として文化財指定され、本体はコンクリート製で、木製の欄干や古風擬宝珠(写真2)は外国人を含む観光客に人気があります。その名は、江戸城普請に携わった大工の棟梁であった弁慶小左衛門が架けた橋に始まり、彼の名から由来しています。

もともと千代田区神田松枝町から岩本町との間に流れる藍染川に架けられていました。やがて藍染川が下水道工事によって埋められると不要になり、明治18年(1885年)に弁慶橋は撤去されました。しかしこのまま名橋が失われることが惜しまれ、明治22年(1889年)に現在の地へ、元の弁慶橋の廃材を利用して架橋されました。その後戦災に見舞われ、欄干の修復や改築工事を経て、現在の姿となっています。

弁慶橋を訪れてみるとタイムスリップをしたかのような不思議な感覚を味わえます。近代的なビルを背景に、橋の下にはボート乗り場や釣り堀があり、ノスタルジックな風景(写真1)が広がります。冬は雪化粧をまとった弁慶橋を楽しみたいです。

参考文献

千代田区観光協会 ● URL <https://visit-chiyoda.tokyo/app/spot/detail/228>



写真2 擬宝珠

